

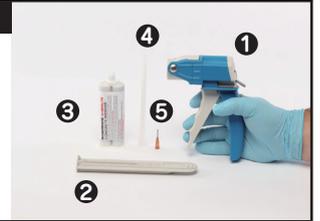
# クラックポンドー

(10 MINUTE CONCRETE MENDER)

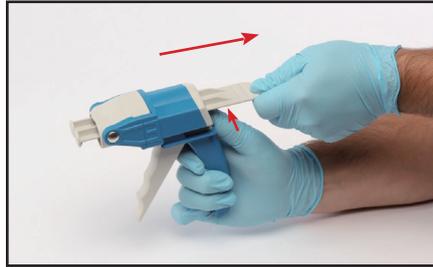
## 組み立て方法

### 部品名称

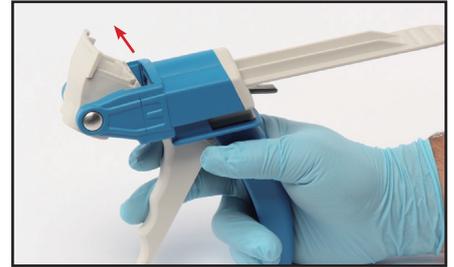
- ① 専用ガン
- ② ピストン板
- ③ カートリッジ(50ml)
- ④ ミキサーノズル
- ⑤ 専用針



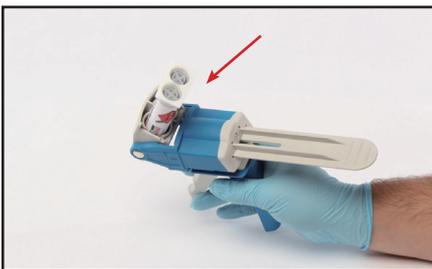
- ギザギザの面を  
下向きに
- ① 専用ガンの後部にあるレバーを上向きに押しながら(水平になるくらい)、ピストン板を挿入します。



- ② ピストン板は一番奥まで引っ張って下さい。



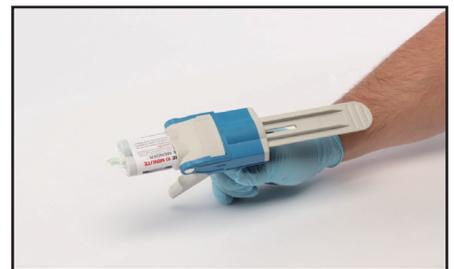
- ③ 専用ガンの前部の銃口を開きます。



- ④ カートリッジを銃口に挿入します。  
※カートリッジのキャップは取らないで下さい。



- ⑤ カートリッジは銃口いっぱいまで押し込みます。



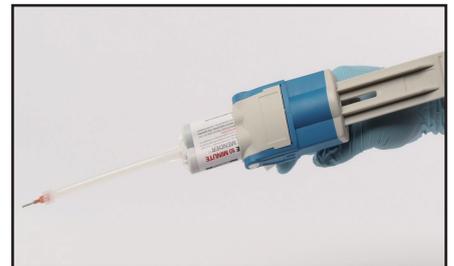
- ⑥ 銃口を閉じて下さい。



- ⑦ カートリッジのキャップを1/4回転させ、ねじり取って下さい。



- ⑧ ミキサーノズルに専用針を取り付けます。  
ミキサーノズルを1/4ひねり、カートリッジに取り付けて下さい。



- ⑨ 完成です。  
ゆっくりと引き金を引いてご使用下さい。  
※施工時は必ずゴム手袋を着用ください。

### 注意

※ 使い始めは2液が十分混ざっていませんので、しっかり混ぜ合わせるまでは、廃棄受けに捨てて下さい。

※ 一度、使用を始めたらガンを上向きにしないで下さい。  
液体がカートリッジ内に逆流して目詰まりを引き起こしてしまいます。

### 用途

- ① コンクリート床のヒビ割れ補修材として
- ② コンクリート床のヘアークラック補修材として
- ③ コンクリート壁のヒビ割れ補修材として
- ④ ブロック塀のヒビ割れ補修材として
- ⑤ コンクリートの欠け補修材として

### ヒビ割れ補修手順

- ① 水気、ホコリ&ゴミを掃除機で吸い取るかコンプレッサーで吹き飛ばします  
※施工部は乾燥させて下さい
- ② 「クラックポンドー」をひび割れ部に注入します
- ③ 「クラックポンドー」を注入したひび割れ部に接着補強材を入れ空洞部を埋めます  
※接着補強材は専用の物をお使いください
- ④ その後再度「クラックポンドー」を注入し、はみ出した部分をスクレーパー等で取り除きます  
※既存の床の色に合わせる場合は、その後カラーセメントを散布して色合わせをして下さい
- ⑤ 30分以降で表面の硬化を確認した後、平滑に削り完了いたします  
※硬化時間は温度により異なります(20度以上で30分程度)

### 夏の時期の注意点

一度注入を始めたら、短時間で使い切るようにしましょう。放置しておくともキキサーノズル内で硬化してしまいます。作業は直射日光を避け、日陰を作って手早く行うか、気温が高い時間帯を避け、朝の早い時間や夕方に行うようにしましょう。



施工方法はホームページの動画でご確認下さい。

<http://www.crack-cp.com>